

令和5年度 まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

| | | |
|----------------|--|--------------|
| 開催日時 | 令和5年8月29日(火) | 9時30分～10時30分 |
| 開催場所 | 半田市役所 庁議室 | |
| 会議次第 | 【議題】 基本目標 1「産業を振興し安定して働く場のある『まち』をつくる」 ①所管課長説明 ②質疑 ③評価 | |
| 出席委員 (欠席委員) | (委員長) 鈴木委員長 (委員) 高木委員、福井委員、大参委員、遠藤委員、林委員、北村委員、山本委員 (欠席) 福田委員 | |
| 事務局 | 企画部長、企画課長、企画課 (内田・中村) | |
| 出席職員 | 産業課長、市街地整備課長 | |
| 議事概要 | | |
| ①所管課説明 | 資料及び事前質問回答に基づき、説明 (産業課長) | |
| ②質疑 | 【委員】 J R 武豊線連続立体交差化事業について、「用地取得率 100%には至らなかった」とあるが、現在どのような状況にあるのか。 【市街地整備課長】 本事業では、J R 武豊線の高架化のほか、側道の事業や線路に交差する道路に係る事業を併せて実施している。高架化部分についての用地取得はすべて完了しているものの、側道部分の用地買収で1件未取得のものがある。この残りの1件も今年度中に取得できる見込みである。 【委員】 高架下の空間の活用はどのように計画しているか。 【市街地整備課長】 高架下空間の利活用に向けて、ニーズの把握や調査、検討等の取組を進めている。現在、高架下空間でできること・できないことを整理しており、まずはJ R 半田駅前エリアを中心に整備を進めていく方針である。 【産業課長】 J R 武豊線の高架化は本市の長年の課題であった。これまでは線路・踏切により市内交通が東西で分断されている状況であったが、今回の高架化により、渋滞緩和など市内の車の流れが大きく変わることになる。 高架化のタイミングと併せて、高架下空間を含めたJ R 半田駅周辺の中心市街 | |

地の活性化を図っていく。名鉄知多半田駅周辺には駐車場等の低未利用地が多いことから、このエリアの活性化も併せて行っていきたい。

【委員】

指標の「起業・会社設立支援補助金利用件数」における目標値（2024 年度 20 件）の設定の根拠などあれば知りたい。

また、指標の「飲食店営業施設数（営業許可施設数）」については、2022 年度（876 施設）が前年度（1,061 施設）から減少しているが、これは露店やキッチンカー等の出展減少によるもので、恒常的に営業している飲食店が大幅に減少したわけではないという認識でよいか。

【産業課長】

起業・会社設立支援補助金は、起業時の登記に係る手数料等を補助するものである。特に積算根拠があるわけではないが、毎年 4、5 件程度は起業支援を目していきたいという思いから 5 年間で計 20 件を目標値とした。しかしながら、最近では登記などの手続きも簡易化されてきており、本補助制度を利用するケースが減ってきている。今後、どのような創業支援にニーズがあるのか分析を進めていきたい。

また、市内の飲食店数の指標については、あくまで営業許可数であるため、やはり露店やキッチンカーが一時的に減少したことによるものであると考えられる。今年度は観光イベントも再開しており、10 月にはんだ山車まつりも開催されることから、今後の指標がどのように変化していくのか注視していく必要がある。特に後継者が見つからずに廃業してしまう市内飲食店もあるため、食の地域資源、コンテンツを守っていくという観点から、こうした問題にも取り組む必要性があると感じている。

【委員】

飲食店の後継者不足という問題に対してはどのような取組を行っているか。

【産業課長】

愛知県が実施している事業とも関連するが、本市では事業継承のための相談窓口を開設している。こうした取組を実施する中で、具体的にどのようにすれば事業継承が進むのか、また、それにあたっての課題は何かということ洗い出し、施策の検討につなげていきたい。

【委員】

後継者不足の問題解消に向けて、例えば店舗と後継希望者とのマッチングの機会などはあるか。

【産業課長】

現状ではマッチングに特化した取組の実施にまでは至っていない。事業継承のための相談窓口でマッチングを希望するかどうかの意向も確認しているが、状況を見るに、後継者を探して店舗を継続するという意思がなく廃業してしまうケースもある。

【委員】

中小企業金融対策事業の 2022 年度決算額は 2 億円を上回っているが、どういった事業が含まれているのか。

【産業課長】

市内企業における信用保証料の助成（半田市小規模企業等振興資金信用保証料助成制度）のほか、預託金の預け入れのための歳出も含まれている。市内企業が金融機関からの融資を受けやすい環境を作り出すために、本市から金融機関に預託金の預け入れと引き出しを毎年度行っている。これに係る歳出が事業費の多くを占めており、例年同程度の事業費が計上されている。

【委員】

産業振興会議（産業振興会議運営事業）では、今後どのような取組を行っていくのか。

【産業課長】

産業振興会議をふまえた取組として、中小企業の若手経営者の方たちに参加いただく未来志向の勉強会という位置付けのセミナーを開催する。例えばDXやゼロカーボンといった世間共通の課題をキーワードとして取り上げながら、自社の業種に留まらない他業種も視野に入れた柔軟な発想を参加者が得られるように促していく。これにより、市内企業の経営やまちづくりを担える人材の育成につなげていきたい。

また、市内の高校や大学の卒業後に市内企業に就職することがその後の市内での定住にもつながることから、市内の高校や大学へのアプローチを市内シティプロモーションの取組とも連携しながら実施していく。

【委員】

企業誘致に関連して、特に IT 関連企業の誘致等の取組は行っているか。

【産業課長】

IT 関連企業に特化した企業誘致活動は行っていない。本市は航空宇宙産業のクラスター特区の認定を受けており、この産業分野は長期的に経営が安定しやすい。こうした航空宇宙産業や自動車製造を始めとした製造業を軸として誘致活動を進めていきたい。IT 関連企業という観点では、愛知県名古屋市にスタートアップの拠点施設「STATION Ai」も今後開業する予定であることから、スタートアップ企業の動向や連携の状況も見ながら、今後の取組を検討していきたい。

【委員】

新規就農者数の増加に向けた取組について、農業大学校へのPRはどの地域の

| | |
|------------|---|
| | <p>学校に行ったのか。</p> <p>【産業課長】</p> <p>関東・関西圏の農業大学校に対して P R を行った。遠方の学校でもあるため短期的に新規就農に直結するわけではないが、こうした P R と連携して、農地を探している就農希望者を受け入れるインターンの斡旋や募集も併せて行っている。半田市が就農しやすい場所であると知っていただく機会を継続的につくることにより、1 件でも多くの新規就農につなげていきたい。</p> |
| <p>③評価</p> | <p>【委員】</p> <p>A 評価。</p> <p>全体の方向性は問題ない。若い世代が転出しているという現状があるため、そうした世代を呼び込めるような就職先として、I T のような分野の企業誘致も一案だと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>B 評価。</p> <p>名鉄知多半田駅周辺には現状低未利用地も多いことから、そうした状況になった経緯もふまえて中心市街地の活性化事業の取組を進めてほしい。</p> <p>【委員】</p> <p>A 評価。</p> <p>各産業分野における半田市のポテンシャルの高さを感じた。航空宇宙産業のクラスター特区であることやスタートアップ企業との連携等、未来志向の今後の展開に期待を込めた評価とした。</p> <p>【委員】</p> <p>B 評価。</p> <p>農業経営基盤の構築は短期的に結果が出るものではないが、着実に取組を進められている。一方で、企業誘致や就業支援は周辺自治体の動向にも左右されるため難易度が高い分野であるため、中長期的な方針のもとで取組を進めていくことが望まれる。</p> <p>知多牛ブランドの強化については、認知度の向上を目指す状況から次のステージに移行すべき時期にあると考えられる。</p> <p>【委員】</p> <p>A 評価。</p> |

全体としては、着実に取組を進められており、成果が出ているものもある。今後さらなる取組の深化を期待している。

【委員】

A評価。

現状の事業継承のための取組は、後継者不足の問題に対する直接的な解決につながるものではないため課題は残るものの、全体の取組状況の評価としてA評価とした。

【委員】

A評価。

アフターコロナの中での各取組の見通しが立ってきたように感じられた。また、産業振興会議等、新たな取組も着実に進めることができる。一方で、後継者不足の問題については、農業分野のほか、例えば教育や保育の分野においても問題となっている。働く場をつくるという点からも幅広い分野での人材確保のための取組が望まれる。

【委員】

A評価。

全体として、課題に対する分析やそれをふまえた取組を着実に行えている。後継者不足・人材不足の問題は農業や商業分野に限らず懸念されるため、他自治体に先立って問題解決に取り組めるとよい。

全体としての評価は、A評価。